



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2019年3月27日発行

会長 澤井一徳 / 副会長 三好敏之 / 幹事 鶴田秀樹 / SAA 伊藤 保

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 / FAX 0848-86-0992 / E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

2018-19年度

国際ロータリー・テーマ
BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう



4月 1 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
花見例会 例会 休会 河川清掃 例会

第1144回 2019年3月16日 INTERCITY MEETING 記録

ホストクラブ 因島RC (因島市民会館・芸予文化情報センター13:30~19:00)



テーマ『先輩から後輩へ つなごう心守ろう伝統』

芸予文化情報センター

13:00~ 登録受付

13:30~ 開会式
司会 因島RC SAA 兼田 敏郎
点鐘 G9ガバナー補佐 石川 典子
国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」
物故会員に黙祷
開会のことば IM実行委員長 村井 圭一
歓迎のことば 因島RC会長 金山 幸平
ガバナー紹介 G9ガバナー補佐 村上 光
来賓紹介 G9ガバナー補佐 村上 光
参加クラブ紹介 因島RC幹事 松浦 伸幸
ガバナー挨拶 第2710地区ガバナー 吉原 久司
ガバナー補佐挨拶 G9ガバナー補佐 村上 光
お知らせ 因島RC SAA 兼田 敏郎

14:00~14:10 休憩

14:10~15:10 第一部 講演・演奏
講師紹介 因島RC SAA 兼田 敏郎
演奏 尾道市立重井小学校 トランペット鼓隊
講演 「ふるさとの心をつなぐメロディー」
講師 尾道市立重井小学校 元校長 柏原 幸子 様
謝辞 IM実行委員長 村井 圭一

14:50~15:10 因島市民会館へ移動

15:10~ 第二部 演奏会
挨拶 因島RC会長 金山 幸平
挨拶 尾道市長 平谷 祐宏 様
挨拶 広島県立因島高等学校長 金山 正行
演奏 「因島高等学校吹奏楽部」
共演 尾道市立因島南中学校 尾道市立因北中学校
尾道市立瀬戸田中学校 因島高等学校OBG

16:30~16:50 芸予文化情報センター移動

16:50 閉会式
司会 因島RC SAA 兼田 敏郎
講評 G9ガバナー補佐 村上 光
記念品贈呈 G9ガバナー補佐 村上 光
次年度G9ガバナー補佐挨拶 尾道東RC 三宅 宏
閉会のことば G9ガバナー補佐幹事 幡地 康永
点鐘 G9ガバナー補佐 村上 光
お知らせ 因島RC SAA 兼田 敏郎

17:10~17:30 休憩・会場準備

17:30~ 懇親会
司会 因島RC 幹事 松浦 伸幸
石川 典子
開宴のことば IM副実行委員長 濱本 敏治
アトラクション 仕舞「喜多会」
乾杯 第2710地区代表幹事 安保 雅文
会食歓談
アトラクション フラメンコ「ロサリータ」
ロータリーソング「手に手つないで」
閉宴のことば 因島RC次年度会長 鶴田 秀和
お知らせ 因島RC 幹事 松浦 伸幸

19:00~ 閉会



ご挨拶

国際ロータリー第 2710 地区
グループ9ガバナー補佐

村上 光

国際ロータリー第2710地区グループ9のインターシティ・ミーティング（IM）に、国際ロータリー第2710地区ガバナー吉原久司様、地区代表幹事安保雅文様、次年度ガバナー補佐三宅宏様をお迎えし、又、多くのロータリアンにご出席をいただき盛大に開催することができますことに厚くお礼を申し上げます。

パリー・ラシンRI会長は目標、優先項目1「クラブのサポート強化」優先項目2「人道的奉仕の重点化と増加」優先項目3「公共イメージと認知度の向上」を掲げておられます。

それを受けて本年度吉原ガバナーのガバナー信条「輝こうロータリー ふたたび！」基本目的「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」のもとに活動されています。私もそれを基本理念として、孤独の危険性、絆の大切さ、例会が健康に及ぼす効果についてプレ公式訪問で卓話をさせていただきました。

そこで今年度のIMのコンセプトを「絆」と定めテーマを「先輩から後輩へ 繋ごう心 守ろう伝統」と定め、50年に及ぶ重井小学校の「トランペット鼓隊」にスポットを当てさせていただき、重井小学校元校長柏原幸子講師より演題「ふるさとの心をつなぐメロディ」として基調講演をしていただきます。

重井小学校の取り組みは「異年齢交流」が50年にも及ぶ輝かしい成果を上げた手本となる事例だと思います。

現在、社会問題となっている「子供の貧困の連鎖」を解決する一つのヒントとして、新世代奉仕の一環としての「異年齢交流」が重要だと考えています。第2710地区としても「子供食堂」への地区補助金を認める方向で進んでいます。

「絆」の重要性は、子供だけではありません。ロータリークラブこそ「異年齢交流・異業種交流」の場であると考えています。今回の取り組みを単なる児童の演奏会として捉えるのではなく、現在の学校教育や一般社会で少なくなってしまった、「異年齢交流」の実践成果と「絆」の大切さをお汲み取り頂けると幸いです。

「楽しくなければ、ロータリーではない」という理念をお持ちの吉原ガバナーの意を受け、ボリューム満点の料理を用意し「飲み・話し・踊る」の懇親会を企画いたしました。懇親会の短い時間ですが「異年齢交流・異業種交流」でロータリークラブの絆を深めていただきましょう。アトラクションは、「静」の中に「動」がある和の代表としての踊り「仕舞」をご覧ください、続いて「フラメンコ」洋の情熱的な踊りの「動」の中に「静」を見出していただければ幸いです。

最後に本日のIM開催にあたり、多大な労力と時間を費やして頂いた村上圭一実行委員長を筆頭にホストクラブの因島ロータリークラブの皆様と、ご参集のロータリアンの皆様の「絆」に、熱く感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



Spring Concert

因島高等学校吹奏楽部



因島南中学校吹奏楽部
こんにちは！因島南中学校吹奏楽部です。スプリングコンサートへ参加させていただきありがとうございます。私たちは、2年生7名 1年生11名の計18名で活動しています。また、社会に出て通用する人となれるよう、時間・礼儀を重んじ心も磨くことも大切に練習しています。本日は、常に舞台上に立たせていただく感謝の気持ちを忘れず、聴いてくださるみなさまに感動をお届けできるよう、演奏します。どうぞよろしくお願いいたします。

因北中学校吹奏楽部
因北中学校吹奏楽部は、2年生7名、1年生6名の計13名で活動しています。部員全員で心から音楽を楽しむことはもちろん、礼儀・時間・授業を大切にすることを通して、人間性を磨いていくことにも力を入れています。本日は、部の目標である「一音心奏～「聴く人が笑顔になれる演奏」を目指して～」を実現させるべく、心を込めて演奏いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

瀬戸田中学校吹奏楽部
私たち瀬戸田中学校吹奏楽部は現在、2年生6名・1年生7名の合計13名で活動しています。3年生引退後、楽譜編成の組替えなどもあり、まだまだ不十分な演奏しか出来ません。今回初めてこのような場に参加させて頂くことを部員一同とても嬉しく思っています。経験豊富な他校の皆さん方から学ぶべきことをしっかりと吸収して、今後の演奏のレベルアップにつなげるために、精一杯の努力をします。どうぞ宜しくお願い致します。



第25回ガバナー杯奮戦記

1回戦 2019年3月17日(日) 11:50 試合開始 (試合結果 呉東RC 7対10 広島空港RC)

呉二河球場前にも選挙ポスターを貼り出す掲示板がデカデカと設置され、いよいよ統一地方選挙が来週から始まるんだなあ～と思いながら球場に入った。しかし、これは我がチームにとって致命的な戦力ダウンとなる。なぜなら、エース乗越が後援会活動を行い、その雄姿をマウンド上で見るができないからだ。我々は、チームのことより、東広島市のこと、臨空都市圏のことを考え地方創生を成し遂げてくれるその行動を誇りに思い、「エース乗越のためにも ZOOM ZOOM 球場で決勝を…」と1回戦突破に呉の地へ乗り込んだ。

前日行われたガバナー杯前夜祭、アイドル伊藤佳子マネージャーが抽選会に挑み、唯一山口のRCがないゾーンを見事に引き当てた。元エース大下は、小さくガッツポーズ！山口のRCチームに勝つむずかしさを一番よく知る人物である。これまで防府RCには数々の苦杯を舐めさせられている。しかし、1回戦の相手は地元呉東RCと決まった途端、様相は落胆へと変わる。「地の理」…メンバーが集まりやすいからだ。地元のママさんたち応援団も多く来る。我々は、**初戦たった9人で戦わなければならず、ケガ人を出すことも許されず、カメラマンもスコアラーもない。**

そんな中、完璧にアウトとなった1回戦が始まった。ジャンケンで勝ったキャプテン河井は、「体力的に衰える前の攻撃を」と先行を選び、1回表の攻撃を迎えた。1番キャッチャー鶴田幸はストレートのフォアボール。元気うちにすかさず2塁へ盗塁。2番センター鶴田秀もフォアボール。3番サード河井の時にまだ元気な鶴田幸は3盗を成功させた。オツと…鶴田秀が走ってない。こんなところでも兄弟息が合わない姿を露呈する。3番レフト川本のショートゴロの間に鶴田幸が生還し、まずは先取点。ここで2盗を試みていなかった失敗が尾をひき、2塁で鶴田秀がアウト。その後、相手ピッチャーは、無駄のない広島空港RCの1・2・3番トリオ「ユキ・ヒデ・カワ」攻撃に恐れをなしたかフォアボールを連発し、打者一巡、ノーヒットの巧みな攻撃で1回表は4点を先行した。

さあ～これで気分的に楽になった先発ピッチャー大下は、何年か前に負傷した肩が少し回復し、制球力の良さでストライク先行のピッチングを披露。1回裏をランナーは出すも0点で抑えた。2回表は相手ピッチャーも立ち直り、なかなか塁に出られなくなる。そんな中、エラーとフォアボールで出たランナーを7番フォアースト伊藤保の目の覚めるような三遊間を鋭く抜ける初ヒットを絡め、3点をもぎ取った。

これで7-0。誰もが楽勝を予測したが、ロータリーの野球はそんなに甘くはない。2階の裏、徐々にピッチャー大下の様子がおかしくなる…体力不足がたたリフォアボールが出始める。相手もよく打ってくる。フォアボールとヒット、そしてエラーが絡み3点をもぎ取られた。なおも2アウト満塁。メンバーにも次第に焦りが出ははじめ、1ストライク3ボールの絶体絶命のピンチ。ここで鶴田兄弟の名コンビが活躍することとなる。試合前二人で「セカンドけん制はセンターが2塁ベースにはいる」と戦略を立てていた。2塁ランナーも警戒している様子もなく、3ボール目の球をキャッチャー鶴田幸から2塁ベースに入ったセンター鶴田秀へ山なりの球で牽制球。鶴田キャノンの炸裂である。2塁でタッチアウト！相手チームは何が起こったのかと、呆然としていたが、ここでスリーアウト、チェンジ！

2回を終わって7-3「このままでは逆転される」と誰もが思っていた3階表、少しずつ息切れが始まるアパッチ野球軍のナインたち。ここで4番ピッチャー大下の目の覚めるようなライトオーバーのツーベースヒットが生まれ、選手たちにも笑顔が戻り、この回も3点をもぎ取った。

3回表を終わって10-3「早く90分経過してほしい」とみんな思って守備についた。前の回に制球が定まらなくなった大下から河井にピッチャーを代えて守りに入った。ストライク先行のピッチングをするも相手チームの連打に見舞われる。打たれると警戒してストライクが入らなくなる。こんな負の連鎖がピッチャー河井の心をプレッシャーへと変える。ヒット数では呉東RCの方が倍以上、いや3倍も4倍も超えている。誰もが「自分のところへは飛んでくるな」と思い、誰もが「河井君～頑張ってくれえ～」と思いながらの3回裏、守備の乱れもあまりなく、こんなあんなでなんとなく4点に抑え切れた。と、ここで時間切れゲームセット！クリーンヒット2本、10-7で、何年か振りの勝利を手にした。思えば広島空港RC野球部は、ここ5年以上も「勝(かち)」に見放されていたような気がする。

1回戦突破の勝因は、ピッチャー大下とリリーフ河井の制球力が良かったこと、ナインの選球眼の良かったこと、この2点に尽きる。対戦後は皆、カラダはボロボロ…明日から筋肉痛との戦いが始まる。



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	B	H								
広島空港	4	3	3								10										
呉東	0	3	4								7										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
2 鶴田幸	8 鶴田秀	7 川本	5 大下	1 河井	9 佐々木	3 伊藤	6 三好	4 河井		PL 18 江田	28 宮田	38 原田	6 高井	1 石井	3 土屋	5 小川	2 相野	4 宇野	8 中野	9 桂野	7 徳野

2回戦 2019年3月23日(土) 10:00 試合開始 (試合結果 三次RC 14対1 広島空港RC)

試合前日、マネージャー河井は悩んだ。1回戦のスターティングメンバーからレフト川本が大型納品のため参加でなくなり、頼みの綱であったアイドル伊藤佳子も全国的に問題となっている人手不足に自社で苦しんでいた。運よく幸崎でお祭りがあってその日が休日となるライト佐々木歯科医院が参加できることとなったものの、どうしても一人足りない。若いロータリーメンバーに連絡をしたが、どうしても予定があり参加できない。「このままでは幹事として温かく見守ってくれた元会長エース乗越をZOOM ZOOM 球場に連れて行くことができない。それどころか、対戦相手の三次RCさんにも、1回戦の対戦相手だった呉東RCさんにも申し訳が立たない。」男気マネージャー河井は一心不乱にお願いしまくった。「こうなればレフト川本を説得するしかない」と、他人の会社の内情を全く無視した説得にかかった。レフト川本は、マネージャー河井の期待に応えた。「岡山の顧客にワックスが乾かないとベッドの納品をしたら床にキズがつく」と午後3時からの納品にしてもらったのだ。なんとという嬉しいロータリーの友情か、なんとというレフト川本の温かい気配りか…こうして、なんとか1回戦のメンバー9人で2回戦も戦うこととなった。

この日は第一試合。前田パストガバナーが訪れ始球式を行った。この日もジャンケンで勝ったマネージャー河井は先行を取り、1回戦と同じような先制攻撃を目指した。1回表の攻撃、1番キャッチャー鶴田幸は初球を振り抜きサード後ろへのポテンヒット。すかさずキャッチャーが投球をはじく間に2盗に成功した。1回戦と同じ展開に心躍る…ところが、制球力抜群の三次RCピッチャーに続く2番センター鶴田秀、この日の試合成立に寄与した功労者3番レフト川本、三原高校野球部出身4番サード大下が連続三振。アウトは全て三振と意気消沈し、悲惨な1回表の攻撃となった。

1回裏、三次RCが牙をむく。打つ気配全くなし。ところが1回戦と違って、全くピッチャー河井の制球が定まらない。6連続フォアボール…その後も制球が定まらず、途中、リリーフ大下にチェンジするも、やはり制球が全く定まらない。1回戦とは比べものにならないくらい広島空港野球部は変身した。リリーフ大下は途中で根を上げ、またも先発河井に交代するも状況は一向に変わらない。中一週間では右肩が回復せず、ボロボロのカラダでマウンドに立った先発河井とリリーフ大下の責任感だけには感謝したい。ここで救世主が現れた。チーム内2番目の長老シャート三好が「わしがなげちゃらあ〜」と3番手ピッチャーに立候補。球は遅いがストライクが入る投球を見て皆が驚いた。ストライクが入ると、玄人集団ではないのでそうそう打てない。なんとなくアウトを取ってチェンジとなった。三好さん、ありがとうございました。三好さんがいなければ、広島空港RC野球部スターティングメンバー全員が身も心もズタズタになっていたに違いありません。

1回裏の攻撃だけで40分、打者2順で11点を取られた。



2回の表、これでは終われないと、ライト伊藤保は笑顔で「この回10点」と訳の分からないことを言っている。先頭打者ピッチャー河井は、ピッチングの影響がたたり凡フライで1アウト。続くファースト佐々木計算にて相手ピッチャーの投球速度と投球角度を導き出し、ひと振りした打球は快音を立て、目の覚めるような打球でレフト方向へ飛んだ。誰もが「これは抜けた」と思った瞬間、相手チームのレフトは背番号51番、若い衆にいつの間にか代わっており、ファースト佐々木の打球は、あっけなくグラブに収められ2アウト。10点取ると豪語したライト伊藤保は、選球眼を駆使してフォアボールを選び、続くショート三好が相手チームの野選で出塁し、2アウトランナー1、2塁。ラストバッター最年長セカンド森崎の出番となった。誰もが「これで終わりか」と思いながらも、「森崎さ〜ん」と声を出し続け、くたびれたカラダを労わりながら声援を送った。思えばセカンド森崎は、グループ9ガバナー補佐当時、セカンドの守備で手が出ず足を出して打球を止めた経験の持ち主である。天はセカンド森崎に舞い降りた。フォアボール。2アウト満塁となった。打席は1番キャッチャー鶴田幸。1回裏の守備で既に足はガクガク、カラダはボロボロ。プレッシャーがのしかかる。初球を叩いた。キ〜ン…いい音がした。三遊間を抜けるクリーンヒット。三次RCから1点をもぎ取った。が、続く2番センター鶴田秀は空振りの三振。10点取れなかった。



2回の裏、1回裏に好投したピッチャー三好の制球力が少しずつ狂ってくる。が、相手三次RCも「もうこらえちゃろう〜」と云わんばかりにビュンビュン振ってきてくれた。ロータリーの友情に感謝したい。打ってくれさえすれば、なんとなくアウトが取れる。この回3点。3回の表、ヒットも出ず、塁にも出れず、1点も取れず、あっけなく0点に。3回の裏の守備に向かう途中、ゲームオーバーが宣告され、我が広島空港RC野球部の春が終わった。

TEAM	1	2	3	TOTAL
広島空港RC	0	1	0	1
三次RC	11	3	×	14

鶴田幸彦

